

### 総合生活情報紙「あれんじ」の健康・医学・医療・学術記事の執筆・監修

常任理事（庶務担当） 山本 哲郎

本年度も、熊本日日新聞社発行の総合情報紙「あれんじ」（タブロイド判一六頁三五万部発行）の第一土曜日分の十面と十一面の見開き二頁について執筆・監修を担当いたします。昨年度と同様に、メインの記事として医学医療関連の「元気の処方箋」を八回（五、六、八、九、十一、十二、二、三月）、また、周辺の学術記事「熊遊学ツアーリズム」を四回（四、七、十、一月）掲載する予定です。それぞれの頁のコラム欄ですが、「元気の処方箋」の際の「子育て応援クリニック」と「慈愛の心医心伝心」は昨年度と同様です。「熊遊学ツアーリズム」の際の「四季の風」（十面）も引き続き掲載します。十一面のコラム欄は「熊本を知らう」と題して、熊本県の松橋収蔵庫に保管されている貴重な資料をもとにした解説記事を同収蔵庫の学芸員の方に書いていただきます。地元のことでも知らないことはたくさんあるものです。ご期待ください。

なお本年度も、「あれんじ」に掲載後逐一全ての記事を「肥後医育振興会」のホームページに掲載し、どなたでも自由に読めるようにすることにしております。

### 「第四回熊本県医療人育成総合会議」の開催予定

テーマ…「医療人育成における教養教育充実への課題」

病む人々に応対する医療人には、専門的知識や技術に加えて、豊かな人間性が求められます。学校教育体制の中で人間性を涵養する中核となるのはいわゆる教養教育です。

その一方で、ゆとり教育世代と少子化世代が重なった学生を入学者として受け入れている現状においては、高等学校教育の補習版ともいえる「リメディアル教育」を教養教育時間帯で担当しなければならぬ場合も増加しています。また、医学の専門領域の知識量が年々増加している中で、教養教育への時間の割り振りも課題となつていられると思われま

このように、単科大学に近い医療技術系大学や専門学校においていかにして教養教育を充実させるかは切実な問題です。熊本における医療人育成の中での教養教育の課題を多面的に考えてみようという企画です。

日時…平成二十五年十一月十六日（土）

開場…午後一時、開演…午後一時三〇分

会場…熊本大学医学部（熊本市中央区本荘一―一―）医学教育図書棟三階第一講義室

司会…熊本大学医学部長 竹屋元裕氏、九州中央リハビリテーション学院 長 児玉公道氏

総合討論コメント…九州看護福祉大学長

二塚 信氏

講演1 大学での医学系教育における現状―制度を中心に  
文部科学省高等教育局医学教育課長補佐 岩瀬鎮男氏

講演2 専門学校での中核的専門人材養成の取り組み―医療福祉系教育を中心に  
文部科学省生涯学習政策局生涯学習推進課専修学校教育振興室長 圓入由美氏

講演3 医療人育成における教養教育充実への課題―成績評価を中心に  
大学教育学会会長、北海道大学名誉教授 小笠原正明氏

講演4 医療技術系大学における教養教育の現状と課題  
熊本保健科学大学副学長兼共通教育センター長 岡部由紀子氏

講演5 医療技術系専門学校における教養教育の現状と課題  
熊本総合医療リハビリテーション学院院长 辻野智二氏

講演6 熊本の医療人育成における教養教育コンソーシアム体制の提案  
熊本大学理学部長 古島幹雄氏

総合討論（右記講師及び聴講者）

### 平成二十五年医学研究会・研修会等への助成を行う

平成二十五年度は、次の一〇件の学会研究会、研修会等に助成が決定しています。

- ・第五十六回日本糖尿病学会年次学術集会（四次助成） 五月十六日～十八日
- ・第十三回全国禁煙推進研究会 六月九日
- ・熊大病院群卒後臨床研修プログラム研修医育成 七月一日～三月三十一日
- ・第三十一回日本肝移植研究会 七月四日～五日
- ・第六十一回日本心臓病学会学術集会 九月二十日～二十二日
- ・第二十九回熊本医学・生物科学国際シンポジウム 十一月一日
- ・本九祭（医学展） 十一月二日～三日
- ・蕃滋祭（薬学展） 十一月二日～三日
- ・第二十七回日本エイズ学会学術集会・総会 十一月二十日～二十二日
- ・第三十五回九州理学療法士・作業療法士合同学会 十一月二十三日～二十四日

### 平成二十五年（第十八回）肥後医育振興会医学研究助成を行う

平成二十五年（第十八回）肥後医育